

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成19年 8月 2日

## 【評価実施概要】

事業所番号	0110510476		
法人名	医療法人社団中山会 新札幌パウロ病院		
事業所名	グループホーム春桜		
所在地	札幌市厚別区厚別東3条6丁目1番5号 (電話) 011-897-0733		
評価機関名	北海道社会福祉協議会		
所在地	札幌市中央区北2条西7丁目1番地		
訪問調査日	平成19年7月11日	評価確定日	平成19年8月2日

## 【情報提供票より】(平成19年6月1日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 14年 7月 1日
ユニット数	3 ユニット 利用定員数計 27 人
職員数	25 人 常勤 19人, 非常勤 6人, 常勤換算 7.4人

### (2) 建物概要

建物構造	壁式RC 造り
	3階建ての 1~3 階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	40,000 円	その他の経費(月額)	16,000~19,000 円	
敷金	有(円) (無)			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	380 円	昼食	610 円
	夕食	480 円	おやつ	0 円
	または1日当たり		1,470 円	

### (4) 利用者の概要(6月1日現在)

利用者人数	22 名	男性	3 名	女性	19 名
要介護1	5	要介護2	9		
要介護3	5	要介護4	3		
要介護5	0	要支援2	0		
年齢	平均 85.9 歳	最低	72 歳	最高	98 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人社団中山会 新札幌パウロ病院
---------	--------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当事業所の玄関横には花壇とベンチが設置されており、地域住民も立ち寄って談話できるような空間が確保され、全体的に家庭的な雰囲気を有している。また、事業所内は落ち着いた木目調の素材が使われた造りで、居間と台所が一体化した明るい共有空間が広がっている。運営母体である新札幌パウロ病院が併設されているため、利用者への万全な医療体制が整えられている。昨年より運営推進会議が開催されており、今後更なる地域密着型サービスへの取り組みが期待できる事業所である。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回評価における改善課題を踏まえ、事業所便りについては、利用者の日常生活の様子や行事等を載せ定期的に家族に送付し、家族と交流を深めるよう努めている。また、苦情受付の明示については、新たに重要事項説明書に明示し、改善に取り組んでいる。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の外部評価の結果を踏まえ、全職員で自己評価の意義を確認し、日々の介護を振り返りながら自己評価に取り組んでいる。また、質の改善に向けて自己評価を計画的・継続的にケアサービスに活かせるよう努めている。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>昨年12月に運営推進会議が設置され、2ヶ月に1度開催されている。会議の中で様々なテーマを掲げて話し合い、更なる質の改善に活かしながら双方向的な会議になるよう努めている。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>内部・外部の苦情相談窓口が重要事項説明書に詳しく明示されている。また、運営推進会議において家族の意見・要望・意向を聞き、日々の介護サービスに反映させている。さらに、「家族会」発足の予定があり、家族と更なる交流を深めるよう取り組んでいる。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>当事業所は町内会に加入し、地域の行事や活動に積極的に参加している。また、年に1度開催されている「春桜まつり」に地域住民を招待し、利用者と共に歌・踊り・バザー等を楽しんでもらっている。さらに、ボランティアを受け入れたり講演会を開催するなど、地域との協力体制が構築されている。</p>

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念の共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「大切な命を元気で楽しい命に」という事業所独自の理念をつくりあげている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員一人ひとりが理念を理解し、確認をしながら日々取り組んでいる。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入し、町内の行事や地域活動に積極的に参加している。また、年に1度開催されている「春桜まつり」に地域住民を招待し、利用者と共に楽しんでもらっている。さらに、ボランティアを受け入れたり講演会を開催するなど、地域との協力体制が構築されている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	全職員で自己評価の意義を確認し、日々の介護サービスを振り返りながら、質の確保・向上に活かしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>昨年12月に設置され、2ヶ月に1度開催されている。会議において様々なテーマを掲げ、更なる質の改善に活かしながら双方向的な会議になるよう努めている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市の行政担当者に文書にて運営推進会議の報告を行っている。しかし、会議に参加してもらうまでには至っていない。</p>	○	<p>今後、担当者にも運営推進会議に参加してもらい、密に連携を取ることが望まれる。</p>
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>定期的に事業所便りを発行しており、利用者の日常生活の様子や健康状態を伝えている。また、家族の来訪時や手紙にて細かな情報提供を行っている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>運営推進会議において家族の意見・要望を聞き、日々のケアサービスに活かしている。また、重要事項説明書に内部・外部の苦情相談窓口が詳しく明示されている。さらに、「家族会」発足の予定があり、家族と更に交流を深めるよう努めている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>管理者・計画作成担当者2名は開設時から変わりなく、職員の異動を最小限に抑えるよう努めている。また、研修生を受け入れ、その後職員として採用し、利用者との馴染みの関係を築くことにより、利用者へのダメージを防いでいる。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>運営者は職員の経験に応じた外部研修の機会を設け、積極的参加を促している。また、研修後はカンファレンス時に報告をし、内容の共有を図っている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>管理者及びケアマネジャーは地域の会議に積極的に参加し、ネットワーク作りに努めている。また、他事業所と相互に見学会を行い、人材育成や質の向上を図る取り組みを行っている。</p>		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>地域からの入居や相談が多く、入居前に利用者の自宅への訪問と事業所への見学を行い、信頼関係を築いてからの利用となるよう配慮している。</p>		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は、利用者一人ひとりの希望や意向に合った対応を心掛けている。また、「介護する人・される人」の枠を越えて喜怒哀楽を共にし、絆を大切に支え合う関係が築かれている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1.一人ひとりの把握</b>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>家族・関係者からの情報や、センター方式のアセスメントを活用し、利用者の思い・希望・意向の把握に努めている。</p>		
<b>2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>利用者本人や家族の意向を踏まえ、全職員でケアカンファレンスを行い、介護計画を作成している。作成された介護計画は家族に説明し話し合われており、利用者主体の介護計画となっている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>定期的な見直しのほか、利用者の状態変化に応じて話し合い、見直しを行っている。</p>		
<b>3.多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>協力医療機関への受診・デイケアへの参加・リハビリからのアドバイスを受けるなど、柔軟な支援を実践している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>ホーム長が看護師のため利用者は健康面についても気軽に相談することもでき、職員は常に利用者の健康状態に配慮しながらケアサービスを提供している。また、母体法人である新札幌パウロ病院の外来看護師にも相談することが可能であり、本人・家族の納得が得られる医療支援を行っている。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>入居時に本人と家族に終末期に関する意向を確認し、話し合いの場を設けている。また、重度化の対応についても早期にかかりつけ医に相談し、検討を繰り返している。</p>		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>入居時に個人情報に関する説明を行い本人・家族の同意を得ている。また、個人情報を他言しない事は職員間で当然の遵守事項として認識されており、職員は利用者に対してプライバシーを損ねることのない対応の徹底を図っている。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>その日の体調や気分に合わせて、散歩や入浴など利用者一人ひとりのペースを大切にした支援を実践している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の力量に応じて、食事の盛り付け・配膳・食器拭きなどを職員と一緒にやっている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者一人ひとりの希望に合わせた週に2回以上の入浴支援を行っている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の生活歴や家族からの情報を基にセンター方式を活用し、一人ひとりに合った楽しみ事や役割を見出し、毎日楽しく張りのある暮らしとなるよう支援している。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	玄関横庭に設置されたベンチにて、利用者は毎日のように日光浴を楽しんだり、また、協力医療機関の売店や喫茶店に行くなど、気分転換を図っている。また、月に1度外食する機会を設けており、戸外に出掛けられるような支援を実践している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	全職員が鍵をかける事の弊害を理解しており、居室や玄関(日中)には鍵をかけていない。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年に数回、避難訓練を実施している。また、毎月のカンファレンス時にも避難のシュミレーションを行い、継続的に訓練を行っている。併設されているパウロ病院と連携が取れており、また、町内との連携についても運営推進会議を通じて話し合いを進めているところである。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの食事・水分摂取量を毎日記録しており、職員は把握している。また、適宜栄養士に献立表を確認してもらい、アドバイスを受けている。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	台所は対面式で居間と一体化し、広々とした明るい空間になっている。居間には季節の花や行事の写真が飾られ、居心地良く過ごせるような工夫がなされている。また、居間以外にも寛げる場所が確保されている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には利用者が使い慣れたたんすや椅子など、馴染みの物が持ち込まれている。また、写真やカレンダーが飾られ、居心地良く過ごせる空間となっている。		

 は、重点項目。